

# 第5学年図画工作科学習指導案

日 時 平成16年11月26日（金）5校時

対 象 男子16名 女子11名 計27名

指導者 教諭 荒 木 眞 智 子

## 1 題材名

- 美術作品を見つめよう -

これってなあに？（作品との対話型の鑑賞活動）

## 2 題材設定の理由

### (1) 題材について

この題材は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の内容「B鑑賞(1)『作品などを鑑賞し、それらのよさや美しさに親しむようにする。』」により設定したもので、独立して行う鑑賞学習の題材である。美術作品を見ると、感じ方や見方はさまざまである。それぞれの感じ方や見方でじっくりと作品と対話するように鑑賞し、造形的な要素から作者の思いを想像することで作品のよさや美しさを感じ取ることをねらいとしている。「これってなあに？」と疑問を投げかけるようにしながら作品と対話をはじめ、「なるほど、～がいいね。」と受け止めたり、「自分だったらこうする。」と自分の思いを表現する活動をとおして作者の思いにせまっていく。

作品のよさや美しさを感じ取ることができた児童は、次の自分の表現活動へ生かしていくことができると考える。また、自分なりの感じ方や見方でよいということは、自分に自信をもつことや友だちの感じ方や見方も認めることにつながるものである。そして、身近にある作品や自然の美しさに目をとめ、進んで鑑賞しようとする態度が育っていくことを期待するものである。

そこで、多くの美術作品を用いて作品に親しんだり、より身近に感じることができる地域の美術作品を用いて自分の思いをふくらませたりしながら、自分なりの感じ方や見方を深めていくことができるように本題材を設定した。

### (2) 児童の実態

児童は、製作することを楽しみ、思い思いに表現しようとしている。また、友達の作品に興味をもって鑑賞しようとする様子も見られる。しかし、なかには、自分の表現に自信がもてなかったり、積極的に作品のよさや美しさを見つけだして楽しもうという気持ちが十分でなかったりする児童もいる。地域に美術作品があっても話題にしてみようという児童も多くはない。

そこで、できるだけたくさんの美術作品をみる経験を増やし、関心を高めるとともに、作品の多様性に気付かせて自分の感じ方や見方に自信をもたせる必要がある。さらに、地域にあるデザイン館を利用して、地域にゆかりのある福田繁雄作品の楽しさを味わわせることで、身近な作品に目を向けさせるとともに、美術作品が名作の絵画ばかりではないことにも気付かせていくことが大切であると考えた。

### (3) 指導にあたって

児童が、楽しく作品の多様性に気付くことができるように、「出合う」過程では、話しやすい雰囲気をつくったうえで、ゲームなどの遊びをとおして多くの作品に触れ合わせる。さらに、福田繁雄デザイン館では、作品をまねたり、作品に触れたりする活動をとおしながら、自分の気に入った作品を見つけださせる。気に入った理由を探るように見つめることで、造形的な要素に目を向けさせていく。

「対話する過程」では、数点の福田繁雄作品の中から、自分の気に入った作品を選ばせ、その作品と対話させる。そのとき、「自分だったらこうする。」という思いをもてるように、色を付けたり、形をアレンジしたりするユ・モアップシ・トや作品の登場人物になって言葉をイメージして書くユ・モアップカードを用意する。表現したシ・トやカ・ドは、友だちと交流させ作品に対する感じ方や見方を深めさせる。さらに、作品についての情報を与えたうえで、造形的な要素をもとに作者の思いを想像させる。そのとき、作者と対話するような気持ちで書くことができるような対話カードを用意する。そして、それぞれがとらえた作者の思いを交流する活動を行わせることで、作品がそれぞれのとらえ方で自由に鑑賞できることやいろいろな感

じ方や見方があることを感じさせたい。

「広げる」過程では、自分が感じ取った作品のよさや美しさを確かめながら再度作品を見つめ直させ、作品のよさや美しさを十分に味わわせたい。また、福田作品だけではなく、多くの作品と対話しながら鑑賞して楽しむことができるように、作品集を数十冊用意し、鑑賞する「鑑賞タイム」や実際に美術館で鑑賞する機会ももうけたい。

### 3 題材の目標

- (1) さまざまな作品に触れて美術作品に関心をもち、よさや美しさを自分なりにとらえようとする。
- (2) 作品をみて、発想の意外性、形の面白さ、大きさや材料の工夫、色や光の美しさなどに気付き、自分の思いを表現したり伝え合ったりしながら作者の思いを想像できる。

### 4 指導計画と題材の評価規準

全時間 ----- 6時間 (270分)

次	時間	学習内容	造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
1	75分	鑑賞で楽しもう (アートでゲーム)	ゲームを通して、カードになった美術作品に関心をもち、力強い感じや優しい感じなどその美しさや表し方のよさ、面白さを味わおうとする。	多くの作品を見て、さまざまな観点で作品をみたり、根拠をもって選んだ作品を紹介し合ったりする。
2	60分	お気に入り作品を見つけよう大作戦	福田繁雄作品に興味をもって、楽しくみようとしたり、気に入った作品を見つけようとしたりする。	福田作品の発想の意外性や形の面白さ、大きさや材料の工夫、色や光(影)の美しさなどをとらえる。
3	60分	ユーモアアップミュージアムでイメージアップ	自分が興味をもって選んだ作品との対話により、自分の考えや感じたことを深めようとする。	自分の選んだ作品を造形的要素に着目したり、作者の思いを想像したりする。
4	75分	見つめて、感じて、味わおう	福田作品のよさをあらためて感じようとしたり、他の多くの美術作品をみて、そのよさや美しさを味わおうとしたりする。	様々な観点で作品をみることのよさに気付き、多くの美術作品と対話しながらみる。

### 5 準備

教師：ポケットミュージアム(鑑賞カード、大型カード)、福田作品のカード、学習カード、画用紙(6枚)、ピアスケッチ用図版、ストップウォッチ、マジックペン、チェックリスト、ユーモアアップカード、ユーモアアップシート、対話カード、作品についての説明板、クレヨン、クーピー、絵の具、作業テーブル、付箋紙、立体説明図

児童：クレヨン、クーピー、筆記用具

### 6 本時の指導(第3次 ユーモアアップミュージアムでイメージアップ)

- (1) 本時の目標  
自分の選んだ作品と対話しながら、作者の思いを想像することができる。
- (2) 本時の準備物  
教師：福田作品(十数点)、ユーモアアップカード、ユーモアアップシート、対話カード、作品についての説明板、クレヨン、クーピー、マジック、絵の具、作業テーブル、付箋紙、立体説明図

児童：筆記用具

(3) 本時の展開

過程	学習内容および活動	予想される児童の反応	○教師の指導 援助 評価
<p>導入 10分</p>	<p>1 前時までの学習で学んだことを思い出す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の見方や感じ方が自由でよかったことや気に入った理由を探ることでよさや美しさが見えてくることを話し合う</li> </ul> <p>2 本時の課題をつかむ</p> <p><b>作品と対話しながら、作者の思いを想像しよう</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品はそれぞれの見方や感じ方でみていいと思いました</li> <li>どこが、どうして気に入ったのかを考えることで作品のよさや美しさがよく見えてきます</li> </ul>	<p>○ 自分なりの感じ方や見方で作品をみることを思い出させる</p> <p>○ 造形的な要素に着目することを意識付ける</p> <p>○ 対話の方法を確認する</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>印象で見つける</p> <p>気に入った理由を探る</p> <p>いいところや疑問に思ったところを語りかける(つもり)</p> <p>自分の考えをふくらませる</p> </div>
<p>展開 40分</p>	<p>3 自分の気に入った作品を選び、その理由を明らかにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>十数点の福田作品を自由に見て回り、気に入った作品を見つける</li> <li>付箋紙にその理由を考え、書く</li> </ul> <p>4 「自分だったらこうする」「自分が～だったら」と考え、ユ・モアップシートやユ・モアップカードに表現しながら、自分なりの感じ方や見方を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色を変えて塗ってみる</li> <li>自分の感じたり思ったりしたことから発想した物に形を変えてみる</li> <li>作品の中に描かれている物に吹き出しを加えてみる</li> </ul> <p>5 表現したものをお互いに説明する</p>	<p>・色がたくさんあってにぎやかな感じが出ているからいいな</p> <p>・だまし絵みたいに、形や色をうまく組み合わせると面白さを表現しているところがいいね</p> <p>・色を青に変えてみたいな、地球が青いから。すると、どう変わるかな</p> <p>・自分も楽しい仕掛けを考えてみよう</p> <p>・この塔は「絶対倒れないぞ」と言ってるようだ</p> <p>・なるほど、そういう考えでこの色を使ったんだね</p>	<p>造形的な要素に目を向けるように、具体的に「どこが」「何が」気に入ったのかを作者に語りかけるようにすることを指示する</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>根拠を明らかにしながら、好きな作品を見つけているか【鑑能】(観察・付箋紙)</p> <p>&lt; Aと判断できる具体的姿 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の造形的要素を根拠として、付箋紙に書いている(継続的)</li> </ul> <p>&lt; Cの児童への手だて &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色や形などから、いいと思った作品を選ぶように話しかける</li> </ul> </div> <p>色をぬるユ・モアップシートや形をアレンジして描くユ・モアップシート、描かれている人物(もの)の気持ちを想像して書くユ・モアップカードを用意する</p> <p>アレンジして立体を描画する場合のヒントを掲示しておく</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>自分なりの考えや感じたことをもとにしながら表現しようとしているか【関】(ユ・モアップシートやユ・モアップカード)</p> <p>&lt; Aと判断できる具体的姿 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何度も作品と見比べたり、つぶやいたりしながらシートやカードに表現しようとしている(主体的)</li> </ul> <p>&lt; Cの児童への手だて &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色を変えて塗ってみるシートや吹き出しのカードを勧め、選択させる</li> </ul> </div> <p>少人数グループで話し合わせる</p> <p>自分なりの考えをもってみると、また違ったとらえ方ができることを確認する</p>

	<p>6 作品の題名や解説を読む</p> <p>7 作者の思いを想像し交流する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この作品はこういう題名だったんだ</li> <li>・このポスターは～のために作られたんだ</li> <li>・作者は「いつまでも友情を大切にしたい」ということを伝えたいのだと思う。それは、色が力強さを感じさせてくれるし、絶対にはなれないように互いにしっかりとぎって描かれているから</li> </ul>	<p>作品のそばに題名や解説を記入したカードを掲示しておく</p> <p>作者が思いを込めて表現したものが作品であることをおさえる</p> <p><b>対話カードを用いて作者の存在を意識させ、想像しやすくする</b></p> <p>造形的な要素をもとに作者の思いを想像しているか【鑑能】(対話カード)</p> <p>&lt; Aと判断できる具体的姿 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の造形的要素を根拠として書き、作者の思い(テーマや意図)を作者になりきって書いている(関連的)</li> </ul> <p>&lt; Cの児童への手だて &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートやカードに表現したこと等をもとにしながら、作者が自分に何と言っているかを考えるように助言する</li> </ul> <p>対話カードを掲示し、お互いの感じ方や見方が分かるようにしておく。</p>
<p>終末</p> <p>10分</p>	<p>8 学習のまとめをし、次時の学習内容を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習で分かったことや感じたことを発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話しながら作品をみるとよさや美しさを感じられてくるし、作者の思いが伝わってくるようだ</li> <li>・いろいろな見方や感じ方があったことが分かった</li> </ul>	<p>対話してどんなことを感じたのか、やってみ発見したことはどんなことかを考えさせる</p> <p>次時は福田作品以外の作品ともたくさん対話しながら鑑賞することを知らせ、意欲を高める</p>

(4) 具体の評価規準

観点	A	B	Bに達しない児童への手だて
関心意欲態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の表現のよさを認めながら自分なりの考えや感じ方で表現しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの考えや感じ方を表現しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が表現できそうなシートやカードを考えさせる。</li> </ul>
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の根拠をもって作品を選んでいる。</li> <li>・複数の造形的要素と関連させながら作者の思いを想像している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠をもって作品を選んでいる。</li> <li>・造形的要素をもとにして、作者の思いを想像している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色などの造形的要素に着目するようにさせる。</li> <li>・造形的要素にふれながら、作者が何を伝えたいのかを考えさせる。</li> </ul>